

水の学校



「水の学校」のプログラムは、体験・見学といった五感を通した楽しみをきっかけに知識を得ること、意見交換・グループでの話し合いなどに参加しながら考えを深め、行動につなげることを大切にしています。

市民・参加者の声を取り入れながら、年齢層や生活スタイルに応じた様々な参加の入り口を提供することをめざしています。

連続講座

身の回りの水を体系的に知る、「水の学校」の柱となる講座です。

半年間(6回程度)にわたり、水にまつわる様々な場所・施設の見学やまちあるきなどの体験を通して、発見したことや気がついたことを共有します。講座で得た知識や気づきは、市のイベントで発信したり、自主活動へとつなげていきます。



講座の特徴 連続講座は、下記の要素を盛り込んで毎年の企画を作り上げています。

1. 初回はワークショップ形式：体を動かしたり、皆が参加・発言できるグループワークで受講生同士の交流を深めます。
2. 水源を知る：水源の森や市内の水源を訪れ、普段使っている水は、どこから来たどんな水なのかを知ります。
3. 水の行方を知る：近隣市や東京都の水再生センター等を訪ねて、生活の中で出る汚水の行方と処理方法を学びます。
4. 市内の水に関わるまちあるき：武蔵野市内を歩いて、地形と水害、川や上水・用水とまちの成り立ちとの関わり等を実感します。
5. 修了生提案プログラム：「水車見学と地粉うどん」等、前年度の修了生からの提案・要望に基づいた内容を取り入れます。
6. 最終回はワークショップ+発表：講座の振り返りに加え、今後のプログラム提案、自主活動のアイデアをグループ発表します。

応用編！ステップアップワークショップ

連続講座受講生・修了生のための講座です。

武蔵野市が現在取り組んでいる水に関わる施策について、担当者から直接説明を聞いたり、関連する現場を見た後で意見交換し、武蔵野の水と生活・まちの関係、そしてこれからのあり方を共に考えます。

2015年度は「水循環・水収支」、「川と上水」、「下水道の施設更新・耐震化・使用料」をテーマに計3回開催しました。

オープン講座&イベント

1回からお気軽に！事前申込講座

興味のあるテーマをきっかけに水を考える、1回完結型の事前申し込み講座です。水再生センターなどの施設見学のほか、アート作品やものづくりなどをきっかけに、水とくらしの関わりや水環境にふれ、毎日使う水について考えるきっかけを作ります。

どなたでも！申込不要イベント

子ども、親子から大人まで幅広い方を対象に、水を含む、環境・自然について楽しみながら学べる申し込み不要のイベント。

「むさしの環境フェスタ」への出展や「水えんにち」では、連続講座の受講生有志メンバー及び修了生が、イベントの企画・運営に携わりました。

子どもから大人まで、気軽に水や身近な環境と親しみ、考える機会を提供します！

